

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	分野(章)番号	4
政策名(項)	公共輸送体制の充実	政策(項)番号	II
施策名(目)	阿武隈急行線の利用促進及び支援	施策(目)番号	①
担当課	企画財政課	担当課長	栗野 由三

1. 施策の基本方針

施策目的	・阿武隈急行線の運行支援や緊急保全整備事業へ補助を行い、安全で安定した運営が可能となるよう支援するとともに、沿線自治体と協力し利用促進活動を実施し、利用者の利便性を向上することにより、利用者数の増加を図ることを目的とする。
------	---

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)
	<ul style="list-style-type: none"> 仙台までの直通便の増発や乗り換え時間の短縮など利便性向上に関する要望がある。 阿武隈急行の施設は老朽化しており、改修に対する要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自家用自動車の普及と幹線道路の整備などにより、鉄道利用者は減少し厳しい状況にはあるものの、地球温暖化による環境への意識が高まり、公共交通を見直す動きも出てきている。町が推進する交流を通じたまちづくりや定住促進の効果が高めるため、鉄道輸送手段の確保は必要であり、また、毎月実施している阿武隈急行線フリーウォークが定着し、観光と交流の手段として鉄道の果たす役割に期待が高まっている。

指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)						
	H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)
主要 阿武隈急行線乗降客数 (町内3駅)	目標		246,000人	246,000人	246,000人		246,000人
	実績	153,188人	195,341人	187,243人			
	達成率			76%			
参考① 仙台方面への接続便数	目標		24便	24便	24便		24便 平成26年3月15日ダイヤ 改正後
	実績	23便	23便	23便			
	達成率			96%			
参考② 仙台方面への直通便数	目標		3便	3便	3便		3便 "
	実績	2便	2便	2便			
	達成率			67%			
参考③ 仙台方面への槻木駅での 平均乗換時間	目標		6分	6分	6分		6分 "
	実績	8分	8分	8分			
	達成率			133%			
参考④	目標						
	実績						
	達成率						

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費	31,351千円	6,197千円	7,310千円	4,527千円	7,784千円	7,784千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	500千円	712千円	500千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	31,351千円	6,197千円	6,810千円	3,815千円	7,284千円
従事者数	正職員	0.75人/年	0.76人/年	0.72人/年	0.37人/年	0.45人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	5,050千円	5,183千円	4,888千円	2,511千円	3,054千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金	650千円	712千円	654千円	335千円	410千円	410千円
トータルコスト	37,051千円	12,092千円	12,852千円	7,373千円	11,248千円	11,248千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	c	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・便数は維持されているものの、町内三駅での乗降客数は減少傾向にあり達成度はやや低い。
	施策成果向上の可能性	c	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・町の支援や補助等により軌道の修繕、駅前周辺の整備を実施することにより、利用者の安全と利便性が図られていると考える。 ・運行している便数については、車両台数が限られており、さらに福島駅ではJRの線路を使用しているため、増便は難しいと考える。
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・阿武隈急行が安定的に経営されることにより、通勤通学の利便性が確保され、結果として町内公共交通手段が安定的に確保されるので貢献度は高いと考えられる。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・丸森町内三駅の乗降客数は減少傾向にあり、これまでの方法から一歩踏み込んだ利用促進対策として、運賃助成事業を始め、沿線地域活性化事業として利用者へのサービスを図っているが乗降客数の減少傾向に歯止めがかからない状況である。 ・鉄道施設の老朽化が進んでおり、今後とも施設・設備の更新が必要であるが、阿武隈急行の経営圧迫にならないよう財政的支援を継続していく必要がある。 ・丸森駅舎が老朽化しており、利用向上の障害となっている。 ・阿武隈急行に対する主要な支援策は、沿線開発推進協議会の場で決定されるため、そちらとの連携や調整が必要である。
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> ・阿武隈急行線は、町も出資している第三セクターであり、町民の日常生活や観光・交流に関する交通手段としても極めて重要であるため、平成24年度から拡大している運賃助成事業に加え、定期券へ助成事業を引き続き実施し通勤通学での利用者の掘り起しを行う。また、継続的に時刻表配布などの利用促進活動や財政支援も実施する。 ・駐車場として賃借している土地について、維持管理事業の効率性を高めていく。
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。

必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。